

1. 単元 身近な地域を調べる方法

2. 目標

- ① 身近な地域の調査について関心を持ち、地域の特徴について複数の資料を活用して調べるなど、意欲的に追究しようとする。 (関心・意欲・態度)
- ② 複数の資料を活用して調べ、身近な地域の特徴を多面的に考察することができる。 (思考・判断)
- ③ 身近な地域を調べるために適切な資料を収集・選択し、そこから解釈した身近な地域の特徴を工夫して表現することができる。 (技能・表現)
- ④ 地図などの資料は目的や用途によって表され方が違うことを知り、複数の資料を使い分けることを通して身近な地域を多面的に理解する。 (知識・理解)

3. 指導にあたって

(1)教材観

身近な地域の学習では、身近な地域に対する生徒の目を開かせ、彼らの日常生活を考える、ないしは将来の地域生活までを考えさせるものにしたい。また、身近な地域を「直接」調べる学習は、「地理的な学び方」を学ぶ単元として重要な学習である。調査を体験し、その大変さや楽しさを実感させることによって、直接調査することの良さ伝えたい。また、統計資料や文書資料、地図の読み取りなどを行う時に注意すべきことなど、地理的な学び方を学ぶ支援を考えながら実施していきたい。

(2)生徒観

中学校入学時は、社会科が苦手であるという生徒が約60%、そのうち、「覚えるのがたいへんである。」「調べるのがめんどくさい。」という理由が80%を越えていた。そこで、4月当初から身近な話題を授業にとり入れながら、関心・意欲を引き出す授業を心がけてきたことで、現在では落ち着いて学習の取り組み、積極的に発言する生徒が少しずつ増えてきた。

本単元は、生徒が苦手な調査活動や発表などがともなう単元である。そこで、授業の中で地図記号や縮尺などの知識を習得し、総合的な学習の時間と関連させながら学習を進めていくことで、調査活動や発表に意欲的に取り組めるよう支援していきたい。

(3)指導観

「自ら学び、自己を高める生徒の育成—自立をめざし、生き生きと学ぶ生徒を育てる授業の創造」という本校の研究主題をもとに、「意欲的に課題を解決する能力を育成する授業」を教科の主題として取り組んでいる。本単元の地域調査は、総合的な学習の時間と関連させながら、クラスの中で班活動として取り組む方法をとった。社会科の授業で学んだ資料の見方や地図の読み取りを学習した上で、調査活動や発表に活用していけるよう支援していきたい。

4. 単元（題材）の指導・評価計画（総時数4時間）

次	主な学習活動	評価規準（方法）	①	②	③	④
一 （ 1 時 間	＜課題＞ いろいろな地図の中でどの地図を使えば良いか。	①地図の種類や使い方について関心を持ち、地図や資料を活用して野々市町の調査を行うとする意欲を持っている。【発言・ワークシート】	○			
	【まとめ】 目的に応じて、活用する地図が違う。	□多様な地図を用意し、比較させて関心を持たせる。(C→B)				
二 （ 2 時 間	＜課題＞ 地図に使われている記号や目印は何か。	④地形図の等高線や地図記号などは縮尺に応じて異なることを理解している。【観察・ワークシート】				○
	【まとめ】 地図は、共通の記号や表し方で工夫されていることがわかった。	□断面図の作成や地図記号の読み取りなどを地形図を使って説明する。(C→B)				
	＜課題＞ 地図以外で調べる方法はあるか。	②写真や統計資料には、様々な種類があり地図同様に目的に応じて活用しなければならないことを判断している。【発言・ワークシート】	○			
	【まとめ】 目的によって写真や統計資料でも調べることができる。	□同一地点の新旧写真を比較したり、統計数値をグラフ化して提示する。(C→B)				
三 （ 1 時 間	＜課題＞ 様々な資料を使って野々市町を紹介しよう。	③様々な資料を活用して、野々市町の特徴をつかみ、町の紹介文を作成している。【発表・ワークシート】				○
	【まとめ】 様々な資料を使えば、いろいろな角度から野々市町の特徴をとらえ紹介することができる。	□どの資料からどのような特徴をつかめたのかを整理するよう助言する。(C→B)				

5. 本時の学習（第三次中第1時）

(1) 題材 様々な資料を使って野々市町を紹介しよう。

(2) 本時のねらい

③様々な資料を活用して町の特徴をつかみ、野々市町の紹介文を作成することができる。

【発表・ワークシート】

(3) 研究主題に迫る工夫

<p>既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図記号や等高線、方位などの地図上の約束事を知る。 ・ 地形図や写真資料、文献資料の役割がわかる。 	<p>本時の指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野々市町の新旧地形図や写真、文献資料を提示する。㊦ ・ グループ内で、調査内容を共有しあう。㊧
--	--

生徒につけたい活用力

・ 様々な資料を活用して野々市町の特徴をつかみ、町の紹介文を作成することができる。

(4) 本時の展開

㊦は意欲を高める、㊧は学びの共同体、㊨は基礎・基本の徹底をめざした授業づくり

過程	配時	○生徒の学習活動 ・予想される生徒の反応	・教師の指導、支援 評価 (㊦観点、【 】方法)
つかむ	5分	○前時で使った資料を確認しながら、本時の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介のポイントをつかませるために地形図や写真資料、文献資料の意義を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・野々市町の新旧地形図や写真、文献資料を提示する。㊦ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈課題〉 様々な資料を使って野々市町を紹介しよう。</p> </div>
考える	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○分担して調べ、調べたことをグループ内で説明し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・そんな場所があるのか。 ・今と昔でだいぶ違うな。 ○聞いた説明を参考にし、各自が野々市町の紹介文をつくる。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で、調査内容を共有しあう。㊧ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな資料から何がわかったのかを伝え合うよう促す。 ・メモを参考にしながら整理して紹介文をつくるよう助言する。
深める	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○班内で紹介文を発表し、評価し合って班の代表を選ぶ。 ○班代表の発表を自分が書いた紹介文と比較しながら聞き、野々市町の特徴を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや特徴のわかりやすさ、資料の明確さなどの評価規準を示すことで学び合えるよう配慮する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦様々な資料を活用して野々市町の特徴をつかみ、町の紹介文を作成している。 【発表・ワークシート】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>□どの資料からどのような特徴がつかめたのかを整理するよう助言する。㊨ (C→B) 【ワークシート】</p> </div>
まとめる	10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>まとめ 様々な資料を使えば、いろいろな角度から野々市町の特徴をとらえ紹介することができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の紹介文の改良点や本時で学んだことをワークシートに記入し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者の発表を聞いて、自分の紹介文を振り返るよう助言する。

(5) 板書計画

課題 様々な資料を使って野々市町を紹介しよう。

1 班

3 班

5 班

2 班

4 班

6 班

まとめ 様々な資料を使えば、いろいろな角度から野々市町の特徴をとらえ紹介することができる。